



兵庫中央病院 地域医療連携室だより

vol.42

<https://hyogochuo.hosp.go.jp/>



contents

- ご挨拶
- 薬剤部の取り組み
- 肥満外来のご紹介
- 療育指導室の取り組み
- 兵庫中央病院
令和8年度健康教室
- 上部消化管検査について
- 外来診療担当表



当院の基本理念

私たちは患者さんに真心のこもった良質で効率的なサイエンス・アート(科学・技と心)の医療の提供を目指します。

1. 私たちは、患者さんの基本的人権を尊重します。
2. 私たちは、質の高い政策医療を推進するとともに、地域医療に貢献します。
3. 私たちは、健康増進や予防医学へ積極的に参画します。
4. 私たちは、多様なニーズに対応できるよう日々研鑽し、医療の安全に努め、患者さんから愛される病院を目指します。
5. 私たちは、経営基盤を強化し、健全な病院経営を行います。

ご挨拶

院長 藤原 英利

新しい年2026年が始まりました。多くの被害があった能登半島地震から2年です。また昨年12月に青森県沖で地震が発生して後発地震注意情報が発せられたのも記憶に新しく、年明け早々島根県鳥取県で地震も発生いたしました。しかし青森県での地震は鉄塔が倒れるかもとかなりの規模の地震でしたが、良い意味で日ごろから地震に対する心構えや準備ができていたことで、大きな被害が報告されませんでした。災害に対する準備は本当に大切であることを教えられました。当院でも災害に備えて自家発電装置の強化工事を行っております。



今年は2月にミラノ・コルティナ冬季オリンピック大会、3月にはワールドベースボールクラシック大会、6月にサッカーワールドカップ カナダ・アメリカ・メキシコ大会が開催されます。日本選手の活躍を楽しみにして、平穏で平和なスポーツを楽しめる1年であることを希望してやみません。

私ども兵庫中央病院はセーフティーネット系医療（神経・筋難病、筋ジストロフィー、重症心身障がい、結核など一般病院では治療継続が困難な疾患）だけにとどまらず、一般の方の診療も積極的に行っております。認知症疾患医療センター、消化器センター、糖尿病センターを開設して、物忘れ外来、頭痛外来、1型糖尿病外来、肥満外来、肛門外来、ヘルニア・下肢静脈瘤外来などの専門外来を設けておりますので、是非ご活用ください。

紹介受診重点医療機関という「医療資源を重点的に活用する外来」を地域で基幹的に担う医療機関として患者さんがまず地域の「かかりつけ医機能を担う医療機関」を受診し、必要に応じて紹介を受けて当院を受診いただく、そして状態が落ち着いたら逆紹介を受けて地域に戻っていただく病院として認定を受けております。ただ、当院への受診患者さんにとっては紹介状をお持ちでない場合は選定療養費として経済的負担をお願いすることになりますので、是非とも紹介状を持っての受診をお願いいたします。

もう一つ2026年は診療・介護報酬改定の年となります。気候変動や円安、ウクライナやパレスチナのガザ、ベネズエラの軍事紛争の影響で電気、ガスなどの光熱費、米や小麦などの食費、石油製品、半導体などの高騰で診療経費の大変な圧迫が続いている。働き方改革の影響や政府の方針もあり働き手確保のため、人件費の高騰も避けられない現状です。なんとか3%の本体部分のプラス改定にはなりそうですが、それでもなかなか厳しい医療経済が続きそうです。

今年も一般医療（内科、外科）の機能を兼ね備えた、セーフティーネット系医療の一翼を担う兵庫県下の中心的病院として邁進し、当院を利用されるすべての方々にサイエンス・アート（科学・技と心）の医療を提供し、地域のみなさまに信頼され、期待される兵庫中央病院としてあり続けられるよう、自然災害やパンデミックは必ずおこるものという認識を持って準備を怠らず、対応努力する所存でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

薬剤部の取り組み

副薬剤部長 中筋 千佳

当院は、セーフティーネット系医療（神経・筋難病、筋ジストロフィー、重症心身障がい、結核など）を中心に医療を提供しており、専門医療を行う拠点病院です。また、内科一般（消化器・糖尿病・代謝・循環器など）、外科系（消化器・呼吸器・整形）などの診療に重点を置き、地域医療・高齢者医療に取り組んでいます。

薬剤部は、医師・看護師をはじめとする医療スタッフと連携を図り、医薬品適正使用の推進、医薬品に係る医療事故の防止および薬物療法の適正化に貢献しています。すべての病棟において薬剤管理指導業務を実施し、一般病棟（2病棟）と結核病棟では薬剤師が常駐し、入院患者さんへ安心安全で質の高い医療の提供に努めています。また、薬剤師の専門性を発揮し、NST（栄養サポートチーム）、ICT（感染制御チーム）、AST（抗菌薬適正使用支援チーム）糖尿病チーム、褥瘡ケア、認知症ケアなどにも積極的に参画しています。

「退院時薬剤情報管理指導」と 「退院時薬剤情報連携」の強化

地域包括ケアシステムの構築が進むなか、「病院完結型医療」から「地域完結型医療」が求められており、退院後のフォローアップ体制の構築やポリファーマシー対策、医師の診療情報の補完など、切れ目のない薬物療法支援を推進するため、病院と保険薬局間のみならず、他の医療機関や介護保険施設、医師や多職種への情報提供・情報共有が重要となっています。

そこで、入院時に診療情報提供書やお薬手帳から得られた情報を、その後の処方提案や服薬指導に活用し、退院時には入院中の薬物療法、その意図や経緯などをきちんと記載したお薬手帳や退院時服薬指導書を作成し、情報提供しています。

退院後も正しい薬物治療を安心して続けていくよう、患者さん1人1人に合った薬剤や調剤方法を選択・提案し、患者さん本人だけでなく、ご家族や介護者の方へも分かりやすく指導するようにしています。



退院時服薬指導書	
テスト 057 様	
退院日	
入院中ににおける貴方の方薬に関する特徴事項や医師様の注意点についてお伺いせしします。 お薬手帳や医療情報、目標所などに記載されると、お方に届する情報が増えますのでよろしくお願いいたします。	
退院時に持つことになるお薬と内服 アレルギーの有無 アレルギーの有無 内服	
内服の有無 内服	
アレルギーの有無 内服	
薬剤副作用の経験の有無 内服	
調剤の工夫 内服	
その他の	



肥満外来のご紹介

糖尿病内科 生天目 侑子

当院では、令和4年1月より1型糖尿病外来開設と同時に肥満外来を開設致しました。地域の先生方からは令和7年1月より患者様をご紹介頂き、令和7年11月現在11名の患者様を診療しています。

肥満症治療の基本は食事・運動療法ですが、無理な食事療法・運動療法は継続が難しく逆に体調を崩すことにもつながりかねず、当院ではこれまで栄養士と協力し適切な食事療法を指導して治療にあたって参りました。

近年では、一定条件を満たした患者様には食事・運動療法を継続した上で肥満症治療薬として**GLP-1受容体作動薬・GIP/GLP-1受容体作動薬(ウゴービ[®]・ゼップバウンド[®])**が保険診療で使用できるようになっています。当院も処方可能である施設要件を満たしており、それらの肥満症治療薬の使用も含めた専門的な肥満症の診療を提供しています。

外来の担当は、これまで糖尿病治療薬としてGLP1-受容体作動薬・GIP/GLP-1受容体作動薬を使用した経験が豊富な糖尿病内科の医師です。

肥満症治療薬(ウゴービ[®]・ゼップバウンド[®])の適応条件は以下の通りです。

肥満症治療薬(ウゴービ[®]・ゼップバウンド[®])の 適応条件

以下の①②を満たす場合に保険診療の対象となります。

- ①高血圧、脂質異常症、2型糖尿病のどれかがある。
- ②BMI 27kg/m²以上で2つ以上の肥満に関連する健康障害(注)がある。

もしくは

BMI 35kg/m²以上

(注) 肥満に関連する健康障害

- (1)耐糖能障害 (2型糖尿病・耐糖能異常など)
- (2)脂質異常症 (3)高血圧 (4)高尿酸血症・痛風 (5)冠動脈疾患 (6)脳梗塞
- (7)非アルコール性脂肪性肝疾患 (8)月経異常・不妊
- (9)閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群
- (10)運動器疾患 (11)肥満関連腎臓病



治療の流れは、**肥満外来(毎週火曜日13:00～15:00 完全予約制)**もしくは**糖尿病内科鴻山医師の外来(火・水・木・金曜日)**を受診して頂き、2型糖尿病・高血圧症・脂質異常症の治療を行うと同時に、2か月に1回以上の栄養指導を行います。

治療の流れ 以下の外来から受診ください

肥満外来

火曜日(完全予約制)
13:00～15:00

糖尿病内科外来

火・水・木・金曜日
(鴻山医師)

上記の治療を6か月継続して減量効果が乏しければ、肥満症治療薬の導入を検討します。

栄養指導を受けて正しい栄養の知識をつけて頂くだけでも肥満症改善の糸口となり得ますので、上記の適応条件に合致する患者様を始め、肥満症でお困りの患者様がおられましたら是非当院までご紹介下さい。



お問い合わせは

地域医療連携室まで

電話番号: 079-563-2121 (代表)
受付時間: 平日8:30～17:15まで



療育指導室の取り組み

療育指導室長 藤井 鈴子

当院の東1病棟、南1病棟、東2病棟では、障害者総合支援法による療養介護・短期入所、児童福祉法による障害児入所支援（医療型・15歳以上）を行っており、「医療」と「福祉」の両面から、兵庫中央病院にて長期療養生活を送っておられる患者さんへ支援を提供しています。

- 筋ジストロフィー病棟（東1病棟・南1病棟）：100床（療養介護60床、一般入院40床）
- 重症心身障害病棟（東2病棟）：50床

*療養介護とは・・・

病院において、医療的ケアを必要とする障害のある方のうち、常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において病院で行われる機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活上の支援を行います。また、療養介護のうち、医療にかかわるものも療養介護医療として提供します。このサービスでは、医療機関において医療的ケアと福祉サービスを併せて提供します。

重心病棟



筋ジス病棟



療育指導室には児童指導員と保育士が配置されており、患者さんやご家族からの相談支援と日中活動支援を行っています。患者さんの生活がより豊かなものとなるよう、日々努めています。

重症心身障害病棟では、療育参観を実施しました。大阪万博の開催にちなんで「世界の国の言葉で家族へありがとうを伝えよう！」をテーマにご家族でゲームや制作を楽しんでいただきました。

筋ジス病棟では、患者さんが中心となり「夏祭り」「長寿の祝い」「文化祭」を企画され、療育訓練棟にて賑やかなひとときを過ごされました。

兵庫中央病院 令和8年度健康教室

当院では、生活習慣病を始めとした健康教室を開催しております。日頃、疑問にお思いの病気や身内の方の病気など、どなたでも**無料**で参加可能ですので、是非お越し下さい。

糖尿病教室



場所：兵庫中央病院 3階 第1・2会議室

2026年 1月16日 (金)	13:30～14:10	糖質の多い食材を学ぼう！	管理栄養士
	14:10～14:50	最新の糖尿病についての知見	糖尿病内科医師
2月20日 (金)	13:30～14:10	糖尿病と生理機能検査	臨床検査技師
	14:10～14:50	食後高血糖を予防するための食事療法	管理栄養士
3月13日 (金)	14:00～15:00	特別講演	

問い合わせ先

Tel 079-563-2121 (代表) 地域医療連携室



上部消化管検査について

平素は当院の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

上部消化管検査のご希望の際ですが、開業医の先生方より患者さんに検査の説明および同意書をお願いしておりますが、ご希望がありましたら、検査当日に当院の消化器内科医師より患者さんに検査及び検査に伴う副作用についてなど説明をさせていただきます。

診療依頼書（FAX用）の内視鏡検査の欄に「**上部消化管検査前診察希望**」の項目がございますので、いつでもご相談ください。

<https://hyogochuo.hosp.go.jp/medical/yoyaku.html#yoyaku4>

今後とも、先生方との密な連携を大切にし、地域医療の発展に貢献して参りたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。



外来診療担当表 (配布用)

:内科初診

診療科	診察室	月	火	水	木	金
内科・消化器内科	2F ⑯	里中 和廣	里中 和廣	一	光永 真貴	石橋 莉永
	2F ⑰	三田 敬二	生天目 侑子	三田 敬二	三田 敬二	三田 敬二
	2F ⑯	光永 真貴	石橋 莉永	安藤 稔	一	安藤 稔
内科・糖尿病内科	2F ⑯	福永 みちる	鴻山 訓一	鴻山 訓一	福永 みちる	鴻山 訓一
	2F ⑯	加藤 美有紀 (2・4週のみ) 大野 祐香 (第1・3・5週)	福永 みちる	島津 浩史	鴻山 訓一	大野 祐香
	2F ⑯	蓑原 達郎	宮部 祥花	蓑原 達郎	島津 浩史	宮部 祥花
結核内科 内科・骨粗鬆症	1F ⑯	藤川 健弥	高木 康行	一	高木 康行	藤川 健弥
脳神経内科	1F ④	河本 邦彦	二村 直伸	三谷 真紀	河本 邦彦	山崎 浩
	1F ⑤	西本 啓介	三谷 真紀	二村 直伸	西本 啓介	安藤 竜起
	1F ⑦	坂下 建人	山崎 浩	安藤 竜起	山形 大志	西田 勝也
	1F ⑧	足立 洋	山形 大志	北 峻志	北 峻志	佐々木 紗子
	1F ⑨	佐々木 紗子	西田 勝也	坂下 建人	足立 洋	金星 匠人 (2・4週)
脳神経内科・消化器外科	2F ⑯	陣内 研二	一	中村 吉貴	陣内 研二	舟川 格 (第1・3・5週)
消化器外科	2F ⑯	藤原 英利	一	藤原 英利	一	中村 吉貴
呼吸器外科・内科(予約のみ)	2F ⑯		片上 信之 (予約のみ)		一	宮本 良文 (第2週)(予約のみ)
循環器内科	2F ⑯	担当医(非常勤) (循内)		担当医(非常勤) (循内)	一	
整形外科	1F ②	富田 佳孝	富田 佳孝	井上 諒真	(手術日)	井上 諒真
予約制	ものわすれ外来 (13:00～15:00)	1F ⑤		(第1・3・5週)山崎 (第2・4週)西田	(第1・2・4・5週)安藤竜 (第3週)坂下	
	頭痛外来 (14:00～16:00)	1F ⑤			二村 直伸 (第2・4週)	
	筋ジス外来 (14:00～15:30)	1F ⑤			三谷 真紀 (第1・3・5週)	
	胆石・ヘルニア・静脈瘤外来 (13:30～15:00)	2F ⑯	藤原 英利 (毎週)			
	ヘルニア・肛門外来 (13:30～15:00)	2F ⑯		中村 吉貴 (毎週)		中村 吉貴 (毎週)
	1型糖尿病・ 糖尿病肥満外来 (13:30～15:00)	2F ⑯		1型糖尿病外来 (担当医)	肥満外来 (担当医)	
	特定健康診査					毎週 14:00～
予約検査処置	午 前		胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡
			心・腹部エコー	心・腹部エコー	心・腹部エコー	心・腹部エコー
			※アンギオ(神大)			
			大腸内視鏡	大腸内視鏡	大腸内視鏡	
			ERCP		ERCP	

受付時間 8:30～11:00 (ご予約の場合 ~17:00)

初診の患者様へ
初めて受診される場合は、玄関を入れて左側の受付カウンターにお越し下さい。

電話での予約受付について

電話での予約受付時間は、平日 12:00～16:00 になります。予約のキャンセルまたは変更がありましたら、前日の上記時間帯までにご連絡をお願いいたします（午前中は診察中につき、避けていただきますようご協力ください）。

担当医師の変更について

諸事情により、上記の担当医師が変更となる場合があります。変更予定は、掲示板にお知らせしておりますので、ご確認ください。

再診の患者様へ

● **ご予約の場合**

正面玄関受付カウンター前の再診受付機にて、診察券を投入の上、ご予約の診療科の受付をしてください。

診察は概ねご予約時間の30分以内を予定しておりますが、当日の診察のすすみ具合により遅れる場合もございますので、予めご了承ください。

● **ご予約されていない場合**

正面玄関受付カウンター前の再診受付機にて、診察券を投入の上、ご希望の診療科を選択してください（受診中の診療科のみ選択可能）。

診察券がない場合は、その旨お申し出ください。なお、前回の診察から3ヶ月以上経過している場合は初診となります（ご予約の場合を除く）。

お知らせ 地域医療連携室の外来予約受付時間は下記の通りです。今後ともますますのご利用をお願いいたします。

- 受付時間：平日 8:30～19:00 (木曜は17:15まで)

- (記) ● 内容：診察予約・画像等検査予約
● 連絡先：TEL 079-563-2121 (代表) 0120-62-2125 (専用電話)
FAX 079-563-4646

兵庫中央病院
地域医療連携室

